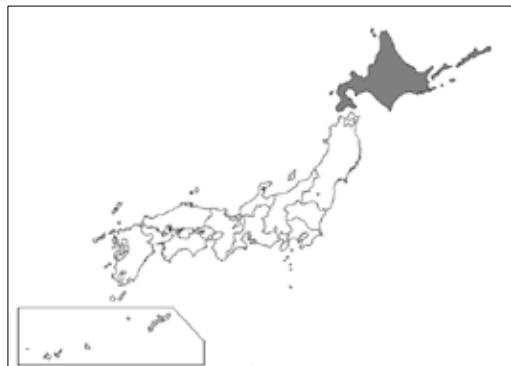


3 地域別の動向

(1) 北海道



北海道地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

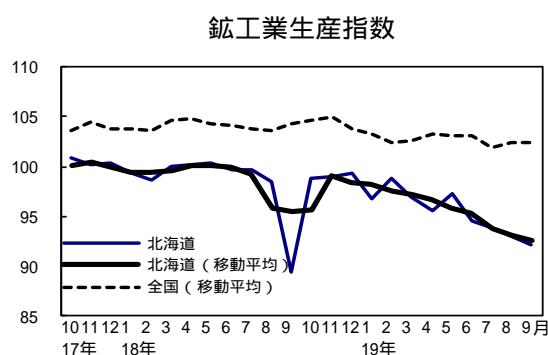
(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（_は上方に変更、_は下方に変更）

前回からの主要変更点

	前回(令和元年8月)	今回(令和元年11月)	
鉱工業生産	おおむね横ばい	弱含み	

1. 鉱工業生産等の動向

- (1) 第一次産業は生乳生産は前年を上回り、主な水産物の生産額は前年を下回っている。
7 - 9月期には、生乳生産は総量では 1,025,031t と前年比 4.0% 増となった。主な水産物¹の生産額(主要9港)は、するめいか、さんまが減少したため、前年比 51.6% 減となった。
- (2) 鉱工業生産は弱含んでいる。
7 - 9月期には、食料品は、冷凍水産物等の減少により、生産が減少した。パルプ・紙は、減少した。電気機械は、減少した。鉄鋼は、特殊鋼棒鋼及び鋼半製品が減少したことにより、生産が減少した。化学・石油石炭製品は、灯油及び軽油等が減少したことにより、生産が減少した。



	付加価値 ウェイト	生産				
		4 - 6 月期	7 - 9 月期	7月	8月	9月
食料品	25.9	0.1	0.6	3.7	2.8	6.5
パルプ・紙	13.1	3.3	2.6	5.0	3.8	4.2
電気機械	9.1	5.9	3.3	6.7	15.8	8.2
鉄鋼	7.9	4.9	7.0	6.1	7.1	8.5
化学・石油石炭製品	7.6	2.6	11.9	22.7	7.2	15.3
鉱工業	100	1.7	2.9	0.7	1.0	0.9

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

2. 7 - 9月期、9月は速報値。

(備考) 1. 2015年 = 100、季節調整値。北海道の最新月は速報値。

2. 全国及び北海道の太線は中心3か月移動平均。

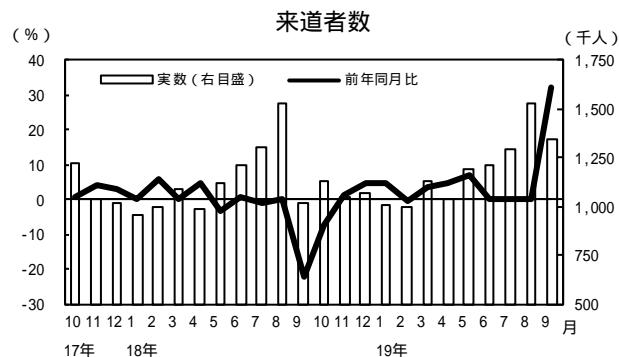
直近月は2か月平均。

¹主な水産物は、するめいか、さんま、すけとうだら、たこ類、ほっけを対象魚種とする。

(1) 北海道

(3) 観光は増加している。

来道者数は、9月は平成30年北海道胆振東部地震の影響による反動増などがあり、増加した。



(備考) 北海道観光振興機構調べ。

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (R D E I (消費))

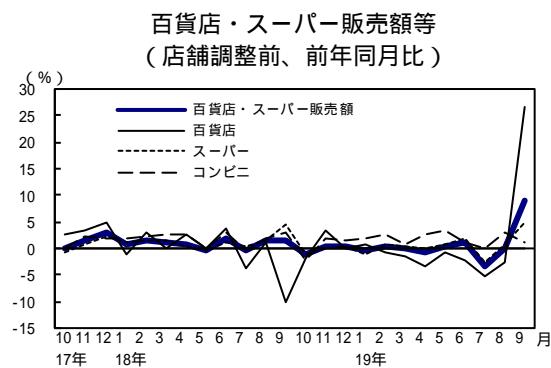
7月は前月比2.2%増、8月は同0.5%増、9月は同1.5%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、7月は、衣料品、身の回り品、飲食料品、その他すべての品目で前年を下回った。

8月は、衣料品は前年を上回ったものの、身の回り品、飲食料品、その他は前年を下回った。9月は、衣料品、身の回り品、飲食料品、その他すべての品目で前年を上回った。

スーパーは、7-9月期は、衣料品が好調だったこと等から前年を上回った。

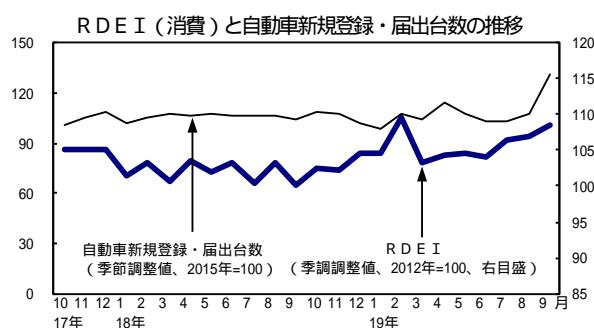


	2019年7-9月	2019年7月	8月	9月
R D E I (消費*1)	2.8	2.2	0.5	1.5
百貨店・スーパー(*2)	1.8	3.2	0.1	9.0
百貨店(*2)	5.2	5.2	2.4	26.5
スーパー(*2)	0.9	2.7	0.7	5.0
コンビニ(*2)	1.4	0.1	2.9	1.2
乗用車(*3)	8.4	3.2	1.0	27.3
(季節調整値) (*3)	5.5	0.2	4.5	21.9

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。

